

図 19.25 点状陥凹 (nail pitting)
円形脱毛症の例.

発する。マニキュアによることが最も多いが、SLE などの全身性疾患によっても生じうる。

10. 陥入爪 かんにゅうそう ingrown nail

爪の側縁が側爪郭に食い込み、このために側爪郭が腫脹発赤して肉芽腫様に盛り上がり、圧痛を伴う (図 19.26)。程度が強いと爪囲炎など二次感染をきたし、反応性の肉芽形成を伴う。靴による圧迫や深爪が原因となり、第1趾に好発する。爪が異常に内側に彎曲する状態を巻き爪 (pincer nail) といい、陥入爪をきたしやすい。白癬菌による爪の変形に続発する場合は原疾患の治療を行う。治療は外力を避け、清潔を保つのが第一であるが、難治性のものに対してはワイヤー法などの爪矯正術や外科手術が必要となる (図 19.26d)。

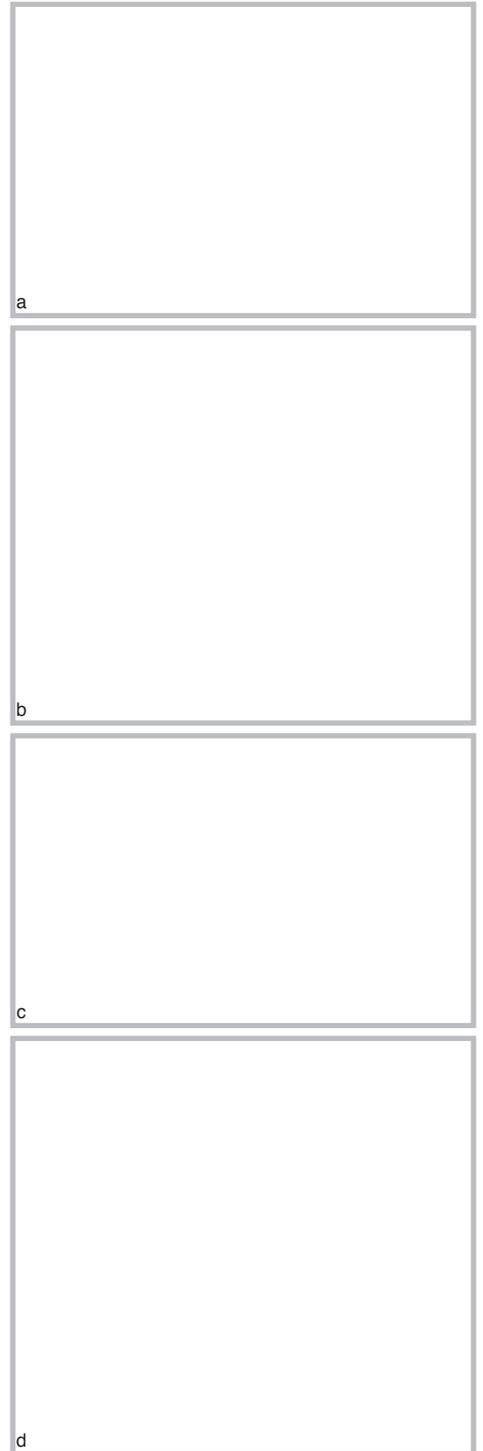


図 19.26 陥入爪 (ingrown nail)
a: 第1足趾爪、内側が側爪郭に食い込み疼痛を伴う。
b, c: 反応性の肉芽形成。d: 治療として爪母を含めた部分抜爪術。